

平成 26 年度

請負工事成績評定の受注者自己評価の結果について

1 受注者自己評価の目的

受注者が自ら施工した工事に対して、成績評定による評価を実施することで、成績評定の理解向上が図られ、成績向上のための取組が共通仕様書や契約図書に基づく施工プロセスの確実な実施に繋がり、その結果、公共工事のより一層の品質確保が図られることを目的として実施しています。

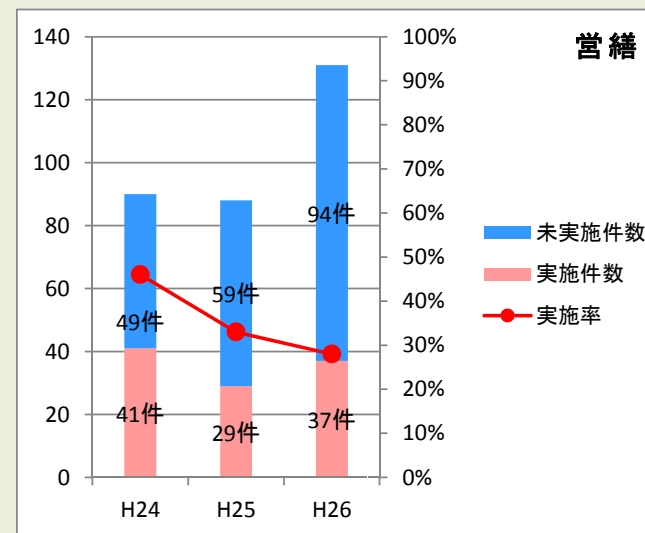
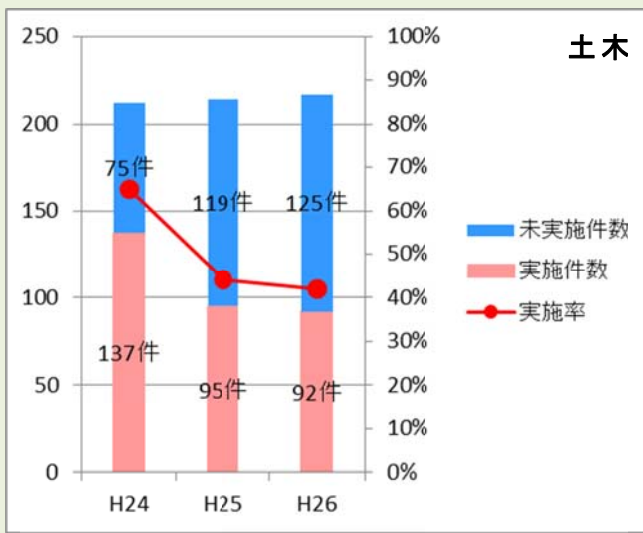
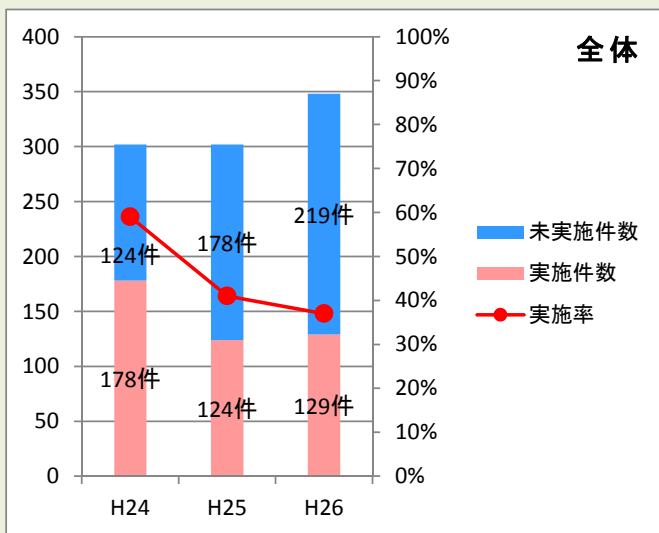
2 自己評価対象工事

- 土木・建築・電気・機械の 4 工種
- 設計金額 500 万円以上
- 6 月以降に着手し年度内にしゅん功する工事

- ・上記条件により、工事主任 1 人当たり 1 件程度とし任意に選定
- ・受注者に自己評価の趣旨を説明し、了解が得られたものについて実施
- ・自己評価の実施者は受注者の現場代理人（工事現場の総括責任者）

3 対象件数と実施件数及び実施率

	平成24年度			平成25年度			平成26年度			実施率の推移	
	対象件数	実施件数	実施率	対象件数	実施件数	実施率	対象件数	実施件数	実施率	H24→H25	H25→H26
土木	212 (70%)	137 (77%)	65%	214 (71%)	95 (77%)	44%	217 (62%)	92 (71%)	42%	21ポイント低下	2ポイント低下
営繕	90 (30%)	41 (23%)	46%	88 (29%)	29 (23%)	33%	131 (38%)	37 (29%)	28%	13ポイント低下	5ポイント低下
全体	302 (100%)	178 (100%)	59%	302 (100%)	124 (100%)	41%	348 (100%)	129 (100%)	37%	18ポイント低下	4ポイント低下



土木と営繕を合わせた全体の**実施率**は平成25年度の41%から37%へ4ポイント低下

4 自己評価評定項目

受注者による自己評価の評定項目は、下記の「請負工事成績採点表」のうち①と②が対象です。

①・・・工事主任の考査項目の9項目の全てが対象

②・・・工事主任の上司の考査項目の4項目のうち2項目が対象

総合評定点は、工事主任①の40%+工事主任の上司②の20%+検査員③の40%の合計

様式1号 (共通)

請負工事成績採点表

工事番号	() 第 号	工 種	工事内容																		
工事名																		契約金額 (最終)			
請負者名																		契約工期	平成		
考 査 項 目	細 別	工 事 主 任					工 事 主 任 の 上 司							検 査 員 ()							
		氏名					氏名							氏名							
考査項目	細 別	a	b	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	
1. 施工体制	I. 施工体制一般	+1.0	+0.5	0	-5.0	-10															
	II. 配置技術者	+3.0	+1.5	0	-5.0	-10															
2. 施工状況	I. 施工管理	+4.0	+2.0	0	-5.0	-10								+5.0		+2.5		0	-7.5	-15	
	II. 工程管理	+4.0	+2.0	0	-5.0	-10	+2.0		+1.0		0	-7.5	-15								
	III. 安全対策	+5.0	+2.5	①	-5.0	-10	+3.0		+1.5		0	-7.5	-15								
	IV. 対外関係	+2.0	+1.0	0	-2.5	-5.0															
3. 出来形 及び 出来ばえ	I. 出来形	+4.0	+2.0	0	-2.5	-5.0								+10	+7.5	+5.0	+2.5	0	-10	-20	
	II. 品質	+5.0	+2.5	0	-2.5	-5.0								+15	+12	+7.5	+4.0	0	-12.5	-25	
	III. 出来ばえ													+5.0		+2.5		0	-5		
4. 工事特性	I. 施工条件等への対応 ※2						+					(20.0)									
5. 創意工夫	I. 創意工夫 ※3	(7.0)																			
6. 社会性等	I. 地域への貢献等						+10.0	+7.5	+5.0	+2.5	0										
加減点合計 (1+2+3+4+5+6)		± . 点					± . 点							± . 点							
評定点 (65点±加減点合計) ※1		①	①				②	②						③	③						

5 自己評価の結果

(1) 工事主任の評定点①における比較

工種	年度	4 自己評定項目の①の欄			総合評点の換算値	
		工事主任	現場代理人	①評定点差	①評定点差×40%	前年比
土木	平成24年度	76.1 点	79.2 点	3.1 点	1.2 点	
	平成25年度	75.7 点	77.8 点	2.1 点	0.8 点	差が0.4点縮小
	平成26年度	78.0 点	80.0 点	2.0 点	0.8 点	昨年と同じ結果
営繕	平成24年度	77.5 点	78.7 点	1.2 点	0.5 点	
	平成25年度	78.8 点	78.8 点	0 点	0 点	差が0.5点縮小
	平成26年度	78.5 点	79.6 点	1.1 点	0.4 点	差が0.4点拡大

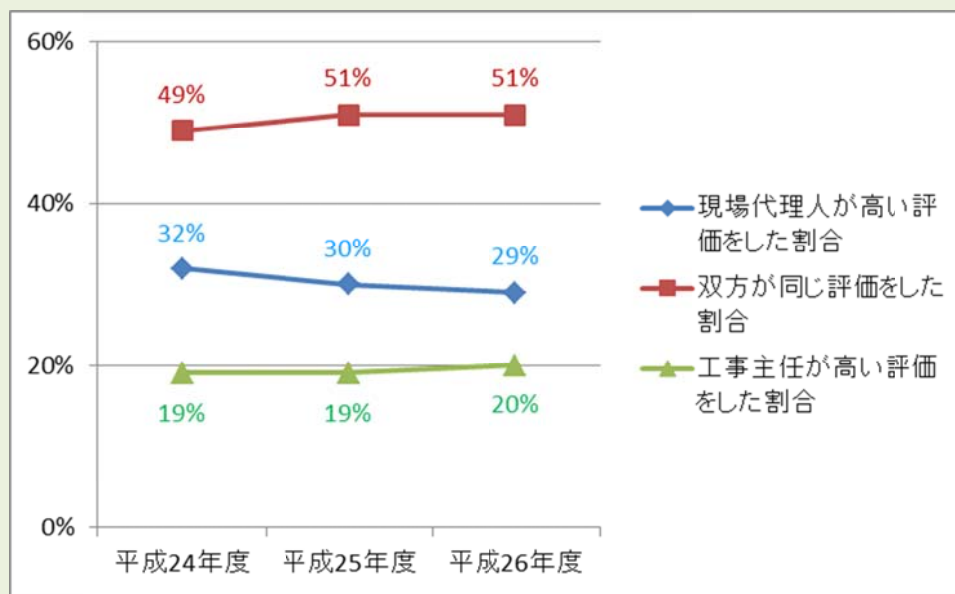
総合評定点の換算値の差

土木工事は 0.8 点、営繕工事は 0.4 点乖離があった。

(2) 工事主任の評定点①の内訳（考査項目A）における詳細比較

【土木工事】

現場代理人と工事主任の双方の
 評定が一致している割合は前年度と変わって
 いないが、工事主任が高い評価をした割合が
19%から20%に向上



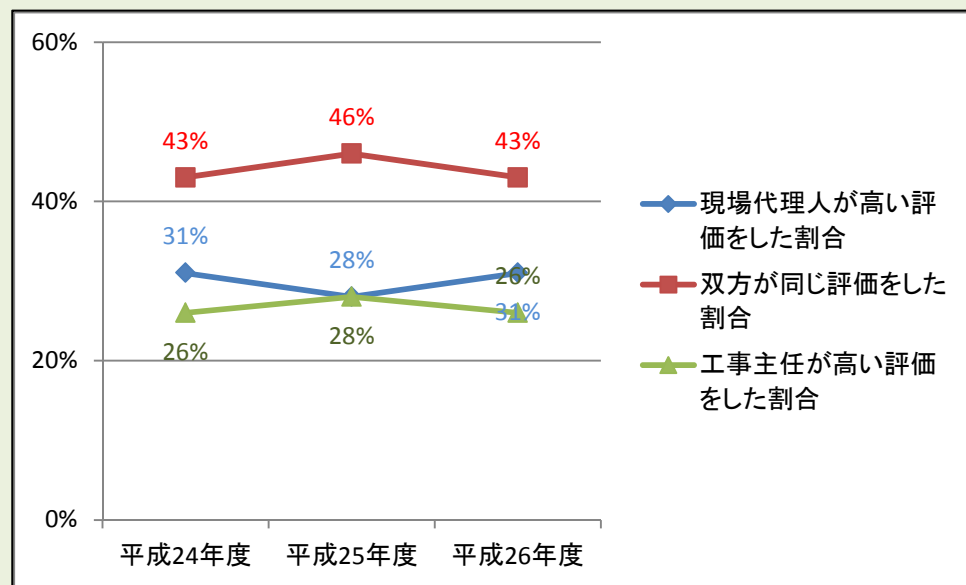
土木工事	年度	施工体制	配置技術者	施工管理	工程管理	安全管理	対外関係	出来形	品質	創意工夫	合計	前年比
工事主任の方が高い評定となっている割合	平成24年度	25%	24%	26%	26%	14%	26%	15%	9%	6%	19%	
	平成25年度	23%	21%	22%	24%	19%	22%	15%	18%	4%	19%	——
	平成26年度	26%	17%	31%	23%	23%	35%	12%	12%	6%	20%	1ポイント向上
双方の評定が一致している割合	平成24年度	44%	48%	53%	52%	49%	47%	49%	68%	27%	49%	
	平成25年度	44%	51%	56%	59%	56%	43%	49%	63%	35%	51%	2ポイント向上
	平成26年度	57%	51%	53%	58%	53%	34%	47%	70%	36%	51%	——
現場代理人の方が高い評定となっている割合	平成24年度	31%	28%	21%	22%	37%	27%	36%	23%	67%	32%	
	平成25年度	33%	28%	22%	17%	25%	35%	36%	19%	61%	30%	2ポイント低下
	平成26年度	17%	32%	16%	19%	24%	31%	41%	18%	58%	29%	1ポイント低下

【営繕工事】

現場代理人と工事主任の双方の

評価が一致している割合

46%から43%に低下



営繕工事	年度	施工体制	配置技術者	施工管理	工程管理	安全管理	対外関係	出来形	品質	創意工夫	合計	前年比
工事主任の方が高い評価となっている割合	平成24年度	27%	34%	27%	24%	32%	32%	32%	29%	2%	26%	
	平成25年度	31%	24%	24%	38%	31%	38%	24%	41%	3%	28%	2ポイント向上
	平成26年度	36%	19%	19%	46%	32%	24%	19%	22%	11%	26%	2ポイント低下
双方の評価が一致している割合	平成24年度	44%	27%	47%	47%	42%	44%	51%	51%	30%	43%	
	平成25年度	48%	52%	45%	45%	45%	45%	62%	38%	34%	46%	3ポイント向上
	平成26年度	31%	51%	32%	38%	41%	51%	68%	49%	24%	43%	3ポイント低下
現場代理人の方が高い評価となっている割合	平成24年度	29%	39%	26%	29%	26%	24%	17%	20%	68%	31%	
	平成25年度	21%	24%	31%	17%	24%	17%	14%	21%	62%	26%	5ポイント低下
	平成26年度	33%	30%	49%	16%	27%	25%	13%	29%	65%	31%	5ポイント上昇

(3) 工事主任の上司の考査項目⑧における比較

土木工事	年度	工事特性	社会特性	合計割合	前年比
工事主任の上司の方が高い評価となっている割合	平成 24 年度	13%	16%	15%	
	平成 25 年度	12%	13%	12%	3 ポイント低下
	平成 26 年度	29%	30%	30%	18 ポイント向上
双方の評価が一致している割合	平成 24 年度	66%	56%	61%	
	平成 25 年度	70%	70%	70%	9 ポイント向上
	平成 26 年度	58%	49%	53%	17 ポイント低下
現場代理人の方が高い評価となっている割合	平成 24 年度	21%	28%	24%	
	平成 25 年度	18%	17%	18%	6 ポイント低下
	平成 26 年度	13%	21%	17%	1 ポイント低下

工事主任の上司が高い評価をした割合が 12%から 30%と 18 ポイント向上

営繕工事	年度	工事特性	社会特性	合計割合	前年比
工事主任の上司の方が高い評価となっている割合	平成 24 年度	44%	2%	23%	
	平成 25 年度	59%	0%	29%	6 ポイント向上
	平成 26 年度	62%	11%	37%	8 ポイント向上
双方の評価が一致している割合	平成 24 年度	17%	73%	45%	
	平成 25 年度	17%	83%	50%	5 ポイント向上
	平成 26 年度	22%	81%	51%	1 ポイント向上
現場代理人の方が高い評価となっている割合	平成 24 年度	39%	25%	32%	
	平成 25 年度	24%	17%	21%	11 ポイント低下
	平成 26 年度	16%	8%	12%	9 ポイント低下

工事主任の上司が高い評価をした割合が 29%から 37%と 8 ポイント向上

6 まとめ

平成 26 年度の受注者自己評価の実施件数は、対象工事として選んだ 348 件のうち、129 件で実施率は 37% となり、昨年の 41%からは 4 ポイントの低下、一昨年の 59%からは 22 ポイントの低下となりました。しかし評定点の差を見ますと、一昨年と比べ、昨年度、今年度ともに乖離が少なくなっており、評定制度の理解が一段と進んだものと思われまます。

創意工夫につきましては、他の項目に比べるとまだ若干の差がありますが、施工計画時等に工事主任と協議するなどして意思の疎通を図ることにより、乖離は少なくなるものと考えています。

創意工夫の評価については、下記ホームページをご覧ください。

http://www.city.sapporo.jp/zaisei/kojikansa/kantoku/documents/souikufu_hyoka_220401.pdf (土木)

<http://www.city.sapporo.jp/zaisei/kojikansa/kantoku/documents/soikufu.pdf> (営繕)

受注者自己評価の試行にあたり、ご理解とご協力をいただきました受注者の皆様方に厚くお礼を申し上げます。

なお、3 年間の試行で一定の効果が確認できたことを踏まえ、受注者自己評価制度は、昨年度までは、札幌市が対象工事を選定していましたが、平成 27 年度からは実施方法を見直し、希望するすべての受注者が実施できることとしました。

今後ともご協力のほど、よろしく申し上げます。